

農業収入500万円未満の赤字農家は支援対象から除外!!

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



5月20日、日本共産党の今野裕文議員の物価高騰対策に関する一般質問で、及川和徳農政部長は農業収入500万円以下の赤字農家を支援対象から外すことを改めて明らかにしました。国の地方創成臨時対策交付金を活用し、広く支援するといったながら農家を選別する姿勢を明確にしました。



今野裕文議員は、物価高騰対策として支援する農家について「農

業収入500万円以上又は農業所得が黒字である農業者及び農業法人」とされている問題について質しました。

農業で所得を得ていることが条件

得ていることが条件

及川農政部長は、支援対象農家について次のように説明しました。

農業収入500万円の線引きについて、「所得率20%とみて、100万円の所得を得て自分の生活費を農業で稼いでいる人」を基準にし、これに「小規模でも効率的な経営」で所得を得ている農家を加えた。

農家の選別は許されない!

許されない!

今野裕文議員は、この基準では水稲農家では5畝規模以上が対象となると恐れ、2〜3畝程度の中規模で設備投資をしている農家が外れる可能性があると指摘。このような選別はやめるよう求めました。

強い農家を育てたい

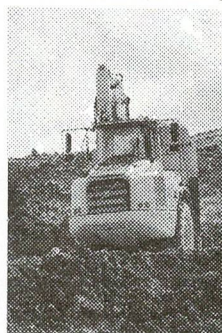
及川農政部長は、物価高騰

下でも営農できる強い農家を育てたいとして、大規模であるほど(物価高騰による)打撃が大きい、職業として農業を営む方を対象として、真に支援を必要とする方を対象にした。

収入ベースで72%の農家が対象になるとし、見直しの姿勢は示しませんでした。

7億円余の追加予算を最終日 追加提案か?

新工業団地フロンティアパークII造成工事



工事の様子

原因と責任の所在を明らかにすべき

今野裕文議員は、現在25億円を投じて進められている新工業団地フロンティアパークIIの造成工事が、軟弱な土壌のため予算内で進められなくなっている問題を取り上げ、地質調査を受け造成設計を行っているはずだ

詳細は議員

全員協議会で示す

倉成淳市長は、次のように説明しました。2度の地質調査において、一部に粘性土壌が含まれているが、工事は可

能だとの結果を得ており、降雪期を避け排水対策をしながら春先から本格工事を行っている。一部、想定以上の地下水等で工事進捗に滞りが出ており、水抜き対策、重機の走路対策、豪雨等の災害対策について現在精査を進めており、必要な費用及び工期の変更について改めて説明したいとし、具体的回答は示しませんでした。

分析してみたい

倉成淳市長は、担当部からは、多くの農家が対象になると聞いているが、どの程度の数の農家が対象から外れるか分析するよう指示すると述べるにとどまりました。



日本共産党
奥州議員
千田みつ子

6月4日

平和行進 奥州市入り

本日は、原水爆禁止国民平和大行進が奥州入りし、大雨の中、慶徳公園で歓迎集会を行いました。

水沢原水協の小原会長は、「あの忌まわしい核爆弾で広島に住む35万人の市民のうち、14万人が亡くなったことは大変なこと」「今年は平和行進が始まって65年目の年。本来であれば元氣に行進をしなければならない!」がと語り、県原水協の渋谷安子さんは「核保有しているロシアはやはり核を脅しに使うんだ!」と言うことが明らかにになった。65年前に1人の方が始めた一歩だったが、引き続きさらに運動を大きく



千田みつ子 Facebook

広めて行こう!」と挨拶。本来であれば、町内を行進するのですが、警報が出るほどの大雨のため、行進は取りやめ、その代わり短時間でしたがスタンディングを行い、私もマイクを握りました。

